

20th  
since 1997  
SUMIDA TRIPHONY HALL

すみだトリフォニーホール開館20周年記念  
すみだ平和祈念コンサート2018《すみだ×広島》  
Sumida Peace Memorial Concert 2018 《Sumida×Hiroshima》



文化庁

平成29年度  
文化庁劇場・音楽堂等  
活性化事業



©K.MIURA

# ジョセフ・リン

## ヴァイオリン・リサイタル

《J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲》

JOSEPH LIN VIOLIN RECITAL

J.S.BACH: COMPLETE SONATAS & PARTITAS FOR SOLO VIOLIN



祈り  
舞う  
バッハ

J.S.バッハ:  
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ

【第1回】

ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001  
パルティータ 第1番 ロ短調 BWV1002  
ソナタ 第3番 ハ長調 BWV1005

【第2回】

パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006  
ソナタ 第2番 イ短調 BWV1003  
パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004

2018年3月4日(日)

【第1回】13:00開演 / 【第2回】16:30開演

※レクチャー「バッハ:無伴奏ヴァイオリン作品について」あり  
(詳しくは裏面をご覧ください)

[2公演セット券] 全席指定¥4,000(第1回・第2回) [1回券] 全席指定¥3,000

[4公演セット券] S¥13,300(3/8 広島響S席、3/10 新日本フィルS席、3/4 ジョセフ・リン2公演)

お申込み・お問合せ:トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212 / トリフォニーホールチケットオンライン [www.triphony.com](http://www.triphony.com)

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 / すみだ北斎美術館より徒歩10分

@TriphonyHall

facebook.com/SumidaTriphonyHall

※都合により公演内容の一部が変更になる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

# 見上げる空はひとつ — ジョセフ・リンのバッハ無伴奏に寄せて

青澤隆明

ジョセフ・リンが久しぶりに、すみだトリフォニーホールに帰ってくる。

あの清冽な音が、またこの空間に充ちるのだと思うと、それだけでどこか居住まいを正さないといけない気になる。

ジョセフ・リンのヴァイオリンは、清らかな魂の打ち震える音そのもののように、まっすぐと聴き手の心に迫ってくる。純粹さということがどれほど信じ難い世界にあっても、リンのヴァイオリンは濁りなく、まっさらにつよく、それを求めるように響く。その切実なまでに真率な表現は、音の響きや感情の生彩を超え、颯爽とした精神の佇まいを伝えてくる。研ぎ澄まされた技術、謙虚な人柄、誠実な鍛錬が一体となって、彼の演奏に清新な純度を導くのだろう。

こうした私の記憶の多くは、すみだトリフォニーホールでの実演の記憶によっている。来たる春の登場はちょうど10年ぶりのことで、ジョセフ・リンはこれまでに3度、この舞台に立ってきた。まず、日本デビューの2004年3月に、イザイのソナタ第3番、バッハのバルティータ第2番というニ短調の2作を含む無伴奏、そしてアルミンク指揮新日本フィルとのチャイコフスキーを聴かせた。2007年にはイザイとバッハの無伴奏作品の録音を一部公開で行い、翌年にはボビー・マクファーリンの指揮でモーツァルトのイ長調協奏曲第5番を演奏した。そこからの年月には、大きな変化もあった。初来日当時から、同じ台湾系アメリカ人奏者と結成したフォルモサ・カルテットに情熱を注いでいたジョセフ・リンは、2011年からはジュリアード四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として演奏と教育の両面で活躍し、同団では2度の来日ツアーも行った。

あっという間に10年ほどがめぐり、青年のイメージが強いジョセフ・リンも、今年で40歳になる。さまざまな経験を重ねながらも、音楽に向かう彼の芯はいまも澄んで、まっすぐなまま揺らぐことはないだろう。新鮮さと成熟を瑞々しく結びつつ、ジョセフ・リンの演奏表現も心の内面もまた深化しているのではないか。そうして、この春には、いよいよバッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタとバルティータの全曲がまとめて演奏されるわけだが、これほど鋭敏かつ繊細に彼の昨今の進境を示すプログラムもそうないはずである。

来たる3月のコンサートは、トリフォニーホール恒例の『すみだ平和祈念コンサート』の主旨を汲んでの出演だが、東京大空襲の地で、台湾系アメリカ人という出自をもつ彼がバッハの無伴奏に臨むことには、社会的背景だけをみれば複雑なものもあるだろう。しかし、どうあれ、心から奏でられる音楽が見上げる空はひとつ。聴く者にとってもおんなじだ。そこに爆撃機の音はない。祈りが立ち上っていくのは、ひとつながりの空であり、私たちが立っているのはたったひとつの地上なのである。

## ジョセフ・リン「ヴァイオリン」 Joseph Lin, violin

1978年メンフィス生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、ジュリアード音楽院プレカレッジを経て、ハーバード大学比較宗教学部に学ぶ。2000年に優等賞を得て卒業。1994年ゼネラル・モーターズ国際、1996年ニューヨーク・アーティスト・ギルド国際、2001年マイケル・ヒル国際各コンクール第1位受賞。室内楽の分野では、2006年にフォルモサ・カルテットとしてロンドン国際弦楽四重奏コンクールで第1位並びにアマデウス賞を受賞。小澤征爾、ヨーヨー・マ、ボビー・マクファーリン、ボストン交響楽団、新日本フィルなど著名な演奏家・楽団と共演しているほか、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロンドンのウィグモアホール、ニューヨークのリンカーンセンター、ワシントンD.C.のケネディ・センター、サントリーホールなどへ出演している。2011年に名門ジュリアード弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者に就任して世界的な話題を呼んだ。ナクソス、N&F、EMIよりCDをリリース。日本でも究極の名手として高い人気を誇っている。ジュリアード音楽院教授。



© K.MIURA

レクチャー「バッハ：無伴奏ヴァイオリン作品について」15:00～15:45 大ホール（各公演チケット購入者対象）

大槻カール晃士「バッハ：スペシャリスト、指揮者、チェリスト」

米国生まれ、茨城県つくば市出身。テンブル大学大学院合唱指揮科を修了後、同学で指揮法の教鞭をとる。その後日本に留学、鈴木雅明、鈴木秀美、若松夏美各氏のもとで研鑽を積む。帰国後はインディアナ大学古楽科博士課程にてバロック・ヴァイオリンをスタンリー・リッチー氏に師事。現在は内田光子氏が芸術監督を務めるマルボロ音楽祭にて音楽司書長を務めるほか、ヴァイオラ奏者の今井信子氏とのコラボレーション、バッハ・スペシャリストとしての講演活動などで注目を集めている。



© K.MIURA

## 下野竜也×広島交響楽団

（すみだトリフォニーホール×広島交響楽団平和祈念共同企画）

2018年3月8日（木）19:00

すみだトリフォニーホール・大ホール

ゼレナ（下野竜也編）「ミゼレーレ」ハ短調より（管弦楽版）  
ベートーヴェン：「葬送行進曲」（交響曲第3番「英雄」より第2楽章）  
マーラー：亡き子をしのぶ歌（メゾ・ソプラノ：藤村実穂子）  
シューマン：交響曲第1番「春」



© 大塚道治

## 上岡敏之×新日本フィルハーモニー交響楽団

2018年3月10日（土）18:00

すみだトリフォニーホール・大ホール

ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲（ヴァイオリン：大江馨）  
ブラームス：交響曲第1番



## 秦茂子とアンサンブル・カリオペ

～第1次世界大戦中の音楽家たち～

2018年3月1日（木）19:00

すみだトリフォニーホール・小ホール



## 映画《人間の条件》全6部

2018年3月3日（土）

第1回 11:00（第1・2部）

第2回 15:00（第3・4部）

第3回 19:00（第5・6部）

すみだトリフォニーホール・小ホール

## 落語《禁演落語を聞く》

～第2次大戦中に上演を自粛した

禁演落語53演目より～

2018年3月10日（土）14:00開演

すみだトリフォニーホール・小ホール

## ■お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン [www.triphony.com](http://www.triphony.com)

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ（無料）へのご登録が必要です。

トリフォニーホール託児サービスのご案内（大ホール公演のみ）

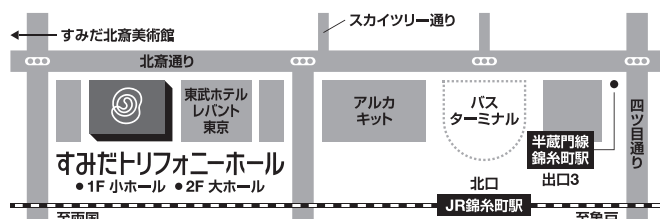
【お申込み・お問合せ】0120-500-315【平日10:00～17:00】

（株）小学館集英社プロダクション総合保育サービスのHAS（ハズ）

※都合により公演内容の一部が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催：公益財団法人墨田区文化振興財団（すみだトリフォニーホール指定管理者）  
招聘・制作：藍インターナショナル



# すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分／すみだ北斎美術館より徒歩10分